

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 2024年 3月 22日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

| | |
|--|------------------------------------|
| 実施団体 | |
| 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業 | |
| 企画名 | |
| 令和5年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動 市民公開講座『つながってよかった緩和ケア』（※ハイブリッド開催） | |
| 事前告知、募集の方法について（ポスター、チラシの配布など） | |
| 関東1都6県の国指定がん診療連携拠点病院等へのチラシ配布、専用WEBサイトでの告知、本学会ホームページおよび緩和ケア.netでの告知、各種SNS(X、Facebook、Instagram、LINE)での告知、会員宛てメーリングリストでの案内、事前動画(3本)のYouTube配信、YouTubeショート動画での開催告知およびYouTubeショート広告配信、産経新聞東京本社版ウインドウ広告掲載、厚生労働省より都道府県担当部局へメール案内、後援団体による会員宛てメーリングリストやホームページ等での案内 | |
| 当日の実施内容について | |
| 日時(期間) | 2024年2月11日(日・祝) 13時30分~16時00分 |
| 実施場所 | アキバホール〔東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフアキバプラザ5階〕 |
| 会場参加数 | 47名(事前申込者57名) |
| オンラインライブ視聴数 | 1,072回 |
| 具体的な実施内容： <プログラム> ■13:30~13:35 開会のあいさつ 日本緩和医療学会 委託事業委員長 下山 理史 氏 ■13:35~13:40 厚生労働省のあいさつ 厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 がん対策推進官 扇屋 りん 氏 ■13:40~14:20 トークセッション1 『治療とつながる~がんと診断されたときから緩和ケアは欠かせない~』 モデレーター：齋藤 円 氏(精神科医)市立ひらかた病院 精神科部長 発表者：廣橋 猛 氏(緩和ケア医・がん体験者)永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター長 コメンテーター：前嶋 愛子 氏(がん治療医)国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科/泌尿器・後腹膜腫瘍科 医員 コメンテーター：橋本 久美子 氏(看護師)聖路加国際病院 相談支援センター コメンテーター：武村 尊生 氏(公認心理師)東北福祉大学 総合福祉学部福祉心理学科准教授 | |

■14：20～15：00 トークセッション2

『生活とつながる～日々自分らしく暮らすための秘訣～』

モデレーター：木村 尚子 氏（緩和ケア医）済生会横浜市南部病院 緩和医療科 副部長
発表者：加藤 那津 氏（がん体験者）若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場 くまの間 代表
コメンテーター：岡本 明大 氏（薬剤師）三重大学医学部附属病院薬剤部 副薬剤部長
コメンテーター：川口 美喜子 氏（管理栄養士）大妻女子大学家政学部食物学科教授
コメンテーター：名古屋 祐子 氏（看護師）宮城大学 看護学群准教授

■15：00～15：15 休憩

■15：15～15：55 トークセッション3

『これからにつながる～希望する過ごし方を叶えるために～』

モデレーター：尾阪 咲弥花 氏（緩和ケア医）東京衛生アドベンチスト病院 緩和ケア内科
発表者：野田 真由美 氏（がん体験者）NPO 法人支えあう会「α」 副理事長
コメンテーター：首藤 真理子 氏（在宅医）みなとホームケアクリニック 院長
コメンテーター：大津 裕佳 氏（緩和ケア認定看護師）三菱京都病院 看護部
コメンテーター：坂本 はと恵 氏（社会福祉士）国立がん研究センター東病院 サポートイブ
ケアセンター副センター長

■15：55～16：00 閉会のあいさつ

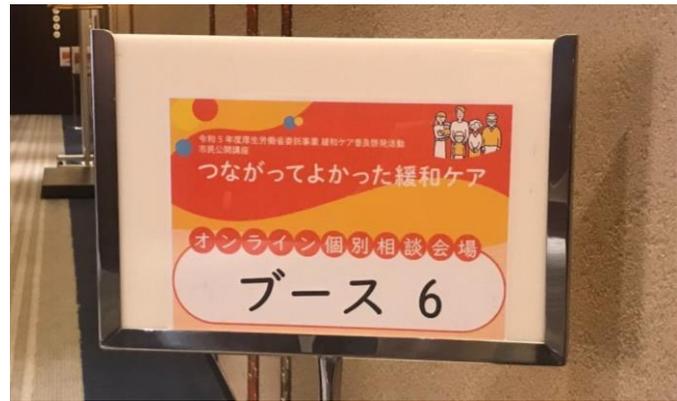
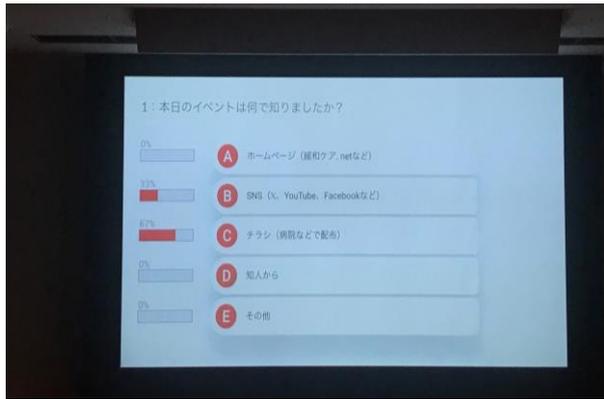
日本緩和医療学会 緩和ケア普及啓発 WPG 員長 廣橋 猛 氏

<展示他>

- ・ポスター掲示 : 受付前にてオレンジポスター・ブルーポスター・レッドポスターの掲示
- ・動画上映 : 受付前にて令和4年度に作成したマンガ動画の上映
- ・緩和ケア個別相談 : 同階の別会場にて事前申込制で開会前(12:00～13:25)
および閉会后(16:00～16:55)に実施
※会場参加数 : 12席(事前申込者14席)
※オンライン参加数 : 7席(事前申込者8席)

当日の様子

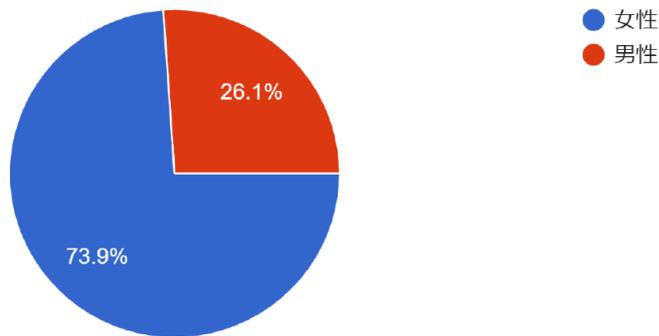




効果について(アンケートの結果など)

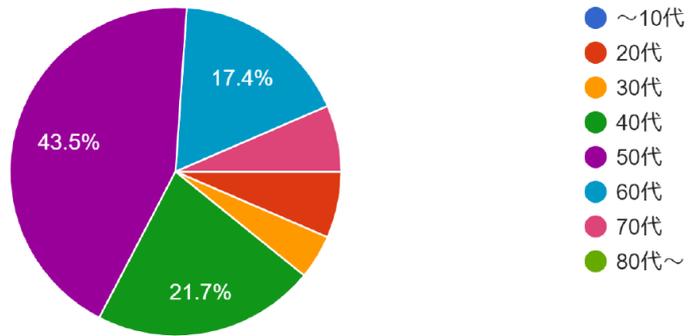
1. あなたについて教えてください。

性別
46 件の回答



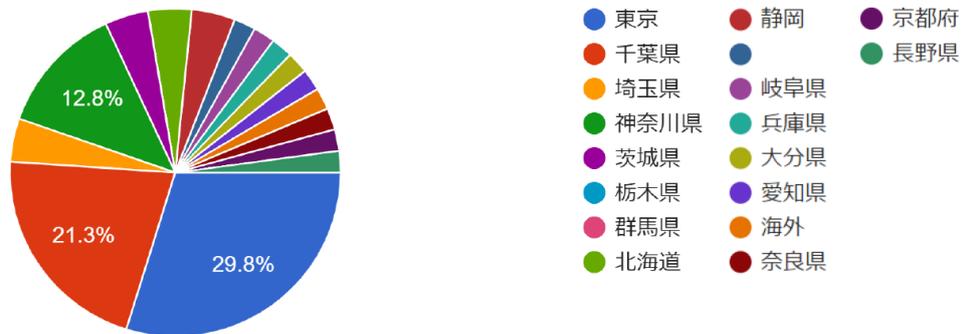
年代

46 件の回答



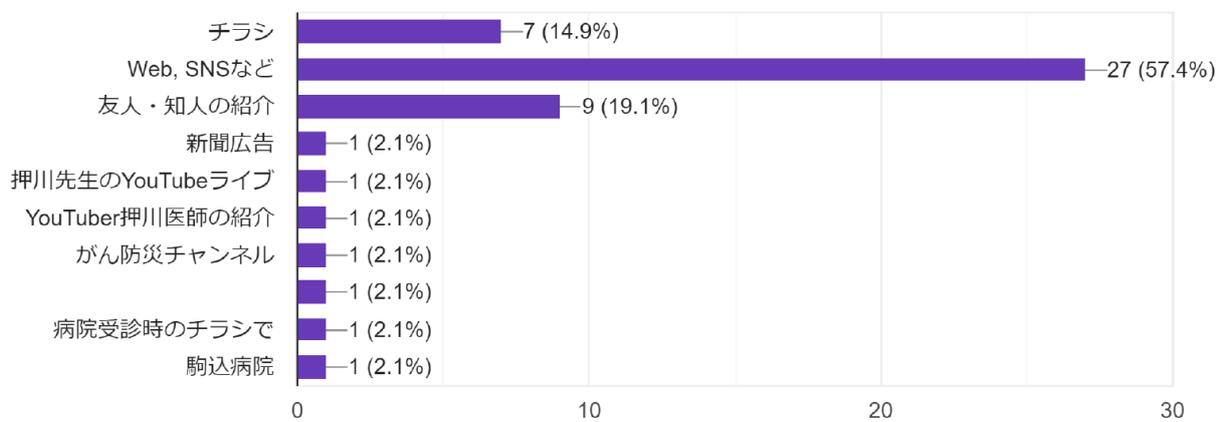
居住地

47 件の回答



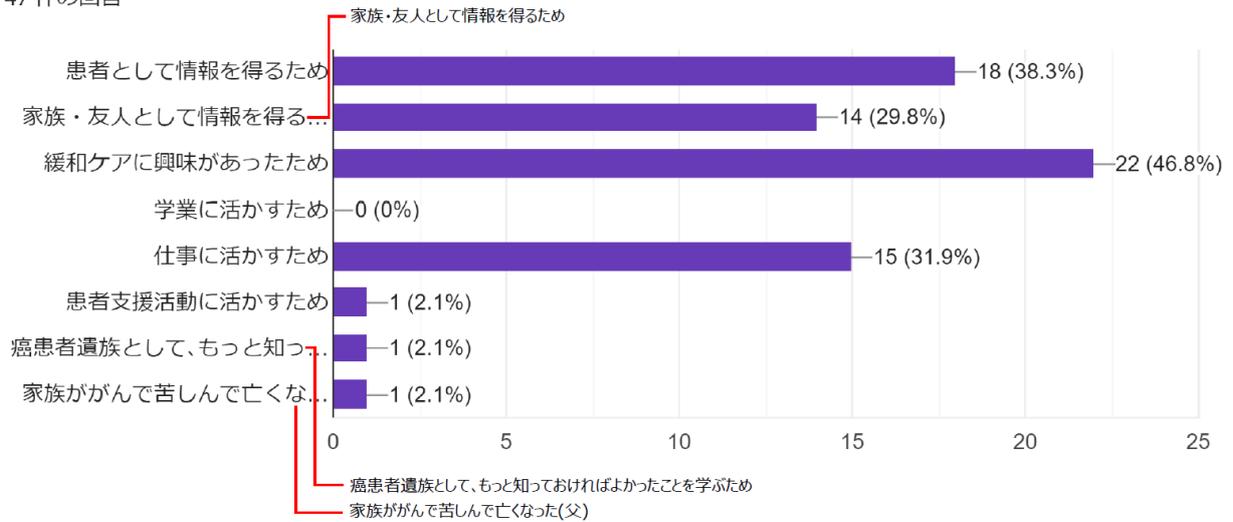
本日の市民公開講座はどのように知りましたか？(複数回答可)

47 件の回答



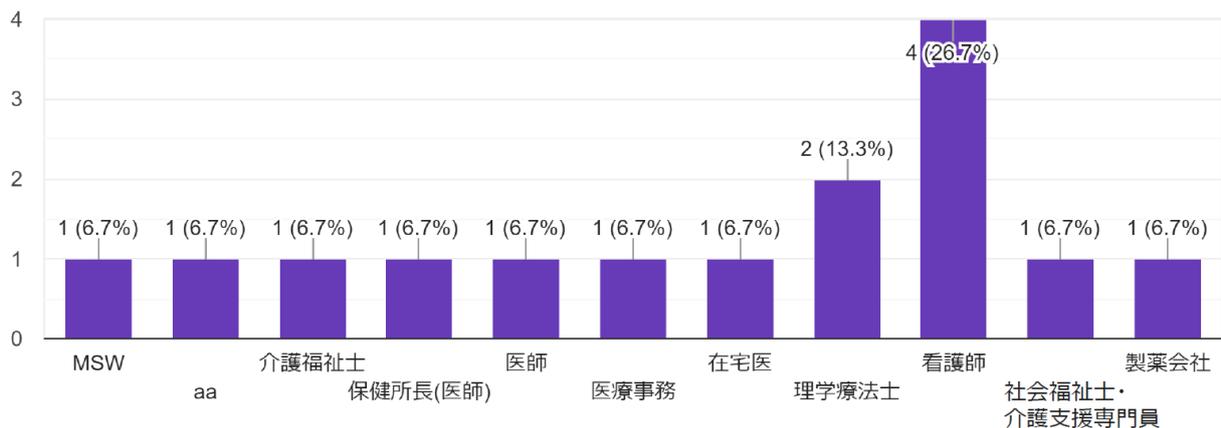
市民公開講座に参加された理由をお聞かせください（複数回答可）

47件の回答



市民公開講座に参加された理由にて「仕事に活かすため」を選択された方は、差し支えなければご職業を教えてください

15件の回答



2. 市民公開講座についてお教えてください

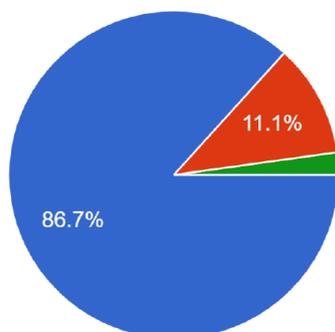
どのテーマに興味を持たれましたか？（複数回答可）

46件の回答



内容はいかがでしたか？

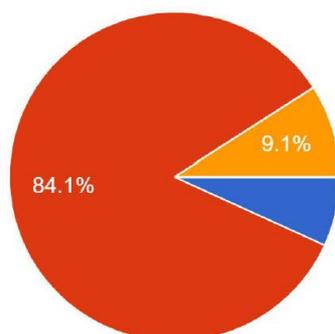
45 件の回答



- よく理解できた
- 普通
- あまり理解できなかった
- まだ担当医にすすめられていないのであまりピンときていない。

講演時間はいかがでしたか？

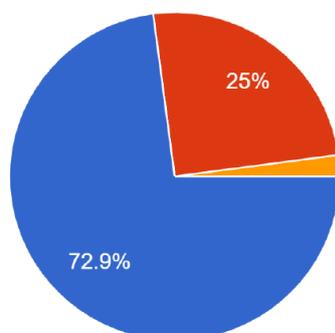
44 件の回答



- 短かった
- ちょうどいい
- 長かった

今後、緩和ケアに関するイベントや講座があれば参加を希望されますか？

48 件の回答



- 希望する
- 内容による
- 希望しない

3.緩和ケアの認識について教えてください

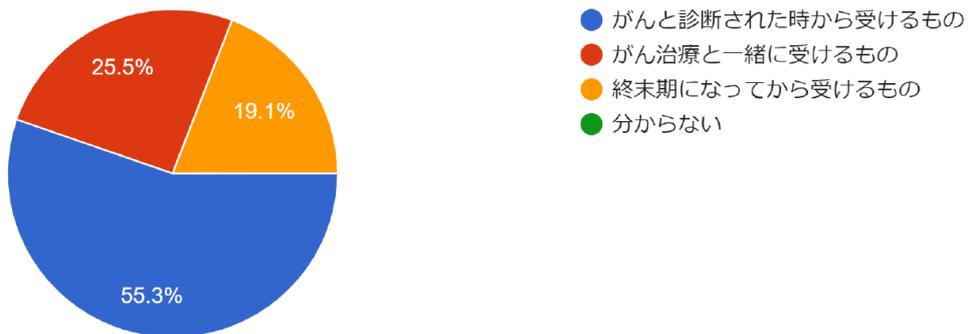
「緩和ケア」という言葉をご存知でしたか？

48 件の回答



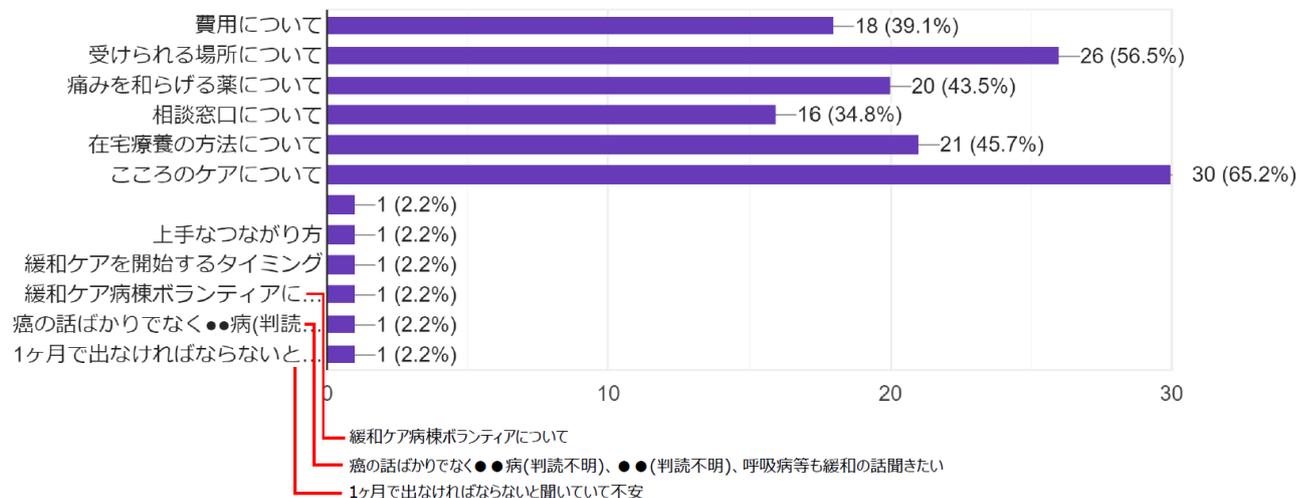
緩和ケアと聞いてどのような印象を受けますか？

47 件の回答



緩和ケアについてどのような情報を知りたいですか？（複数回答可）

46 件の回答



ご意見があればご記入ください

28 件の回答

| |
|--|
| 痛みのケアが中心で、心のケアまで至っていない緩和ケアが多いと気がします。 |
| 色々勉強になりました。ありがとうございました！ |
| アーカイブ配信があれば、ぜひ、拝聴したいです。よろしく願っています。 |
| 当事者の加藤さん、野田さんお2人のお話がとても良かったです。患者や家族は、何が起るのか、何を質問すればよいのかも分からず途方に暮れています。医療者は、聞かれたら答えるのではなく、どんなニーズが出てくるかそれまでの経験を活かして先を見越した情報提供をのぞみます。 |
| ありがとうございます。 |
| 「わたしのチーム」を作られた加藤さんのお話が心に響きました。また、緩和ケアや相談する場所が、身近にある今の時代に生きていくことに、患者として感謝したいと思います。そして、緩和ケアについて知っていることが当たり前になるように、できることから（ママ友とのランチ会での話題にするとかですが…。最近も、ママ友さんの身内の方が胃がんになったと聞きましたので。）行動したいと思います。 |
| とても参考になりました。ありがとうございました。 |
| 治療医が緩和ケアをどう理解しているのかわかき出せない。診断時から希望の有無を聞いてもらえるような仕組みがあると良いと思います。患者会に参加したり、当事者としての活動をしていきたいと思っています。 |
| 地方在住の父の今後のために伺いました。地域において差があるので、今後の住み家を含め、本人の気持ちを聞き出しに行きたいと思います。情報収集に当たり、参考になるお話が聞けました。ありがとうございました。 |
| 世間一般的にはまだまだ終末期になった時のイメージですよね……。 |
| がん告知を受けた人すべてが、こういう情報を得られる社会になるといいと願って25年が経ちました。もっともっと進んでいってほしいです。本日はありがとうございました。 |
| 転職先の病院にたまたま緩和ケア病棟があり、前任の医師の急な退職で、独学で緩和ケアをやらざるを得ませんでした。力不足で孤独で、非常につらい日々でした。今日、病院外の様々な方のお話聞いてとても救われる思いがしました。 |
| トークセッションはすべて的確で勉強になりました。医師初め、各専門家の方が誠意があって、このような方ばかりならば、不安や孤独感が薄らぐと思いました。ただ日々の御多忙ゆえ、皆様の健康も大事に出来る環境整備を、国初めもっともって考えてほしいです。 |
| 今日は大変良い機会にあえました。自分のお世話になっている病院ではなかなか相談の機会は有りません。これからどうしたら良いか不安でなりません。 |
| 大変勉強になりました!! ありがとうございます!! |

| |
|---|
| 会場から質問を受け付ける時間があつたら良い。患者側の意見・不安・ギモンをもっと取り上げてほしい。 |
| 患者さん、家族のニーズを聞く、ということをお忘れず、日々臨床にあたっていくたいと思います。ありがとうございました。 |
| 非常に勉強になりました。会場でリアルタイムで意見が集約できるのは、すごく良かったです。 |
| 家族がステージ4の希少がんの治療中。抗がん剤のために週1で通院しているのですが、主治医から緩和ケアについて情報をきくことはなく……自ら調べて意思表示しなければダメなのかと本日勉強になりました。 |
| 身体の痛み、心の痛みをとってもらえるのが緩和ケアですね。患者の伴走車となってください。よろしくお願いします。 |
| 島根県在住の一人暮らしの母がすい臓がんになり情報を得たく来ました。当初はステージ1～2で1ヶ月以内以内に手術でしたが、松江市立病院でのステント手術がよくなく熱や腫がたまり腹水にがん細胞がちらばり手術不可能となりました。今は抗がん剤のみのため松江市内の日赤に転院。担当医から“年内だから早めに準備するように”と言われたのがショックで精神的に不安定になってしまい施設へ入所する準備をすることになりました。死への恐怖、痛みへの恐怖を取り除いてあげたい。その方法医療について知りたい。緩和ケア医に繋がりたいと言っても“まだいいでしょう”と言われつながらない。不足しているかもしれないのかもしれない。心療内科医ともまだかかっている。ただ支援員・ケアマネさんと相談はできている。支援員の方のおかげで市立病院から島大医学部へ転院できたのではないかと感じている。市立病院では自分で退院自分で歩いて外来で島大を受ける様言われたため本当にたすかった。 |
| できれば直接口頭で質問したかった。セッション3つで盛り沢山すぎと感じた。もう少し登壇者を絞り込んでじっくり話してもらえたらと思う。 |
| 遅れて参加したため質問サイトがわかりませんでした。Wifiがつながらなかったので質問サイトにはお伺いしませんでした。Wifiもつながるようにして欲しい。質問サイトの書面も同封してほしい。要領書書きしましたが大変勉強になりました。ありがとうございました。 |
| 身寄りのない孤独ながん患者はどうしたらよいかの情報提供いただけるとうれいします。 |
| SPARKUPを用いてのアンケートを取って進行していくというのが画期的でとてもよかったです。 |
| モデレーターの話が多すぎる。『時間がないから、限られてから』が一番時間使ってる。コメントーターの話が聞きたい。モデレーターは4名と打ち合わせしてるだろうに。 |
| 術後追加治療がない緩和ケア(含リハビリ)が無く、民間療法(東洋医学など)に頼っています。担当の先生から提案とかあると助かります。遅れて入りましたがとても参考になるお話でした。 |
| セッション間に休みを取って欲しかった。健康な人向けの運行だと思えます。細かく休みを取って欲しい。副作りに耐えながら参加したので。加藤さん、がんばれ！ |
| 緩和ケアは当事者(患者・Fa)にならないと知ることが少ないと思う。このような機会を今後も設けていただきたい |

4.緩和ケア個別相談に参加された方にお伺いします

緩和ケア個別相談の感想をご記入ください

5 件の回答

| |
|--|
| とても丁寧に対応していただきました。個別相談を受けさせていただけに良かったです。ありがとうございました。 |
| じっくりお話しを聞いてくださり、アドバイスも頂きました。ありがとうございました。 |
| 不安がとりのぞかれました。ありがとうございました。 |
| 緩和ケア病棟ボランティア活動について相談でき参考になりました。 |
| 個別でなく全体でも癌ばかりでなく難病の体験聞きたい。 |

つながってよかった緩和ケア

緩和ケアは、がんと診断されたときから行う、
身体的・精神的・社会的な苦痛を和らげるためのケアです。
あなた自身や大切な人のために、緩和ケアについて知ってください。

2024年 2月11日(日・祝)

時間：13:30～16:00
(開場・受付時間 12:30～)

会場：アキバホール

東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトアキバプラザ5階

- ・JR線 秋葉原駅中央改札口より徒歩2分
- ・つくばエクスプレス線秋葉原駅A3出口より徒歩1分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅2番出口より徒歩3分
- ・東京メトロ銀座線末広町駅1番出口より徒歩6分



参加無料
会場参加は事前申込制
(先着順)

会場参加とYouTube ライブ
のハイブリッド開催

※会場参加は定員になり次第締め切らせていただきます。

※YouTube ライブの配信は日本緩和医療学会公式 YouTube チャンネルよりご視聴ください。

YouTube ライブはこちらから



市民公開講座の詳細は専用 WEB サイトから



プログラム内容

● 開会のあいさつ

● 厚生労働省のあいさつ

トークセッション1

● 『治療とつながる～がんと診断されたときから緩和ケアは欠かせない～』

モデレーター：齋藤 円 氏 (精神科医) 市立ひらかた病院 精神科部長
登壇者：緩和ケア医・がん体験者、がん治療医、看護師、公認心理師

トークセッション2

● 『生活とつながる～日々自分らしく暮らすための秘訣～』

モデレーター：木村 尚子 氏 (緩和ケア医) 済生会横浜市南部病院 緩和医療科 副部長
登壇者：がん体験者、薬剤師、管理栄養士、看護師

トークセッション3

● 『これからにつながる～希望する過ごし方を叶えるために～』

モデレーター：尾阪 咲弥花 氏 (緩和ケア医) 東京衛生アドベンチスト病院 緩和ケア内科
登壇者：がん体験者、在宅医、緩和ケア認定看護師、社会福祉士

● 閉会のあいさつ

※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

※当日の様子は、会場参加される参加者の個人情報保護には十分配慮し、撮影および動画配信を行い、主催者のホームページ等で公開いたします。予めご了承ください。

当日はスマホを用いて
アンケートなどに
ご参加いただけます



参加方法

会場参加申し込みは、
WEB 申し込みフォームにてお申し込みください

※FAX 申し込みをご希望の方は裏面をご覧ください

WEB <https://e-ve.event-form.jp/event/69241/kanwacare>



※会場参加は定員になり次第締め切らせていただきますので、
ご参加いただける場合は、追ってメールにて受付時に必要なQRコードをお送りいたします。

同日開催

『緩和ケア個別相談』について

市民公開講座当日のプログラム (13:30～16:00) 前後に、『緩和ケア個別相談』を行います。

ご来場が難しい方には、WEB 会議システム (Zoom) での個別相談も可能です。
なお、相談窓口には限りがあり、必ず事前に WEB 申し込みフォームもしくは FAX 申し込み (裏面をご覧ください) よりお申し込みください。
定員になり次第締め切らせていただき、後日事務局よりお送りいたします。
「お申込み完了メール」をもって確定といたします。
全てのご相談内容へのご対応は難しい場合がございますので、予めご了承ください。

主催：日本緩和医療学会

後援：東京都、全国がん患者団体連合会、日本緩和医療薬学会、日本がん看護学会、日本がんサポーターケア学会、日本癌治療学会、日本サイコoncロジー学会、日本在宅医療連合学会、日本循環器学会、日本心不全学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本ペインクリニック学会、日本臨床腫瘍薬学会、日本老年医学会、日本放射線腫瘍学会、日本麻酔科学会、日本臨床腫瘍学会、日本ホスピス緩和ケア協会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本死の臨床研究会

市民公開講座

つながってよかった緩和ケア



日時：2024年2月11日(日・祝)

時間：13:30～16:00 (開場・受付時間12:30～)

会場：アキバホール

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3

富士ソフトアキバプラザ5階

<https://www.fsi.co.jp/akibaplaza/hall.html>

※お申し込み締め切り 2024年2月6日(火)

【アクセス】

- JR線 秋葉原駅中央改札口より徒歩2分
- つくばエクスプレス線秋葉原駅A3出口より徒歩1分
- 東京メトロ日比谷線秋葉原駅2番出口より徒歩3分
- 東京メトロ銀座線末広町駅1番出口より徒歩6分

FAX 送信先：03-5738-2118

ふりがな
氏名

郵便番号

※記載のご住所に参加証をお送りしますので正確にご記入ください。

住所

都道
府県

電話番号

E-mail (お持ちの方)

※車椅子でご来場の場合は予めお知らせください。

参加希望人数

名

車椅子のご利用あり

相談ブースへの参加をご希望の方は以下もご記入 (チェック) ください。

個別相談： 希望する

相談形式： 会場 WEB (Zoom)

相談希望時間帯 (①～②から選択)： ()

①プログラム前(12:00～13:25)

②プログラム後(16:00～16:55)

相談希望内容 (①～⑫から選択、2項目まで)： () ()

- ①がんの検査・診断のこと ②がん治療のこと ③セカンドオピニオンのこと ④がん治療薬のこと・副作用のこと ⑤緩和ケアのこと
⑥痛みの治療・医療用麻薬のこと ⑦自宅での医療・介護のこと ⑧医療費や介護費用・保険などお金のこと ⑨仕事のこと
⑩生活のこと・食事のこと ⑪家族のこと ⑫緩和ケア病棟やホスピスのこと

※上記でお預かりしました個人情報は、本件の申込受付ならびに参加証の送付など本件におけるご連絡のために使用させていただきます。

※個人情報のお取り扱いに関するお問い合わせは【令和5年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動「市民公開講座」事務局】

(info_kanwacare@zeroconnection.jp) までお問い合わせください。

※当日の様子は、会場参加される参加者の個人情報保護には十分配慮し、撮影および動画配信を行い、主催者のホームページ等で公開いたします。予めご了承ください。

【本件に関するお問合せ】

令和5年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動「市民公開講座」事務局

E-mail：info_kanwacare@zeroconnection.jp